

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	人の血液に含まれる薬毒物の正確な分析法の確立と品質管理 (質量分析法を用いたヒト体液中薬毒物検出手法の評価)
研究開発期間 (西暦)	2022年度～2025年度
研究機関名	名古屋大学大学院 医学系研究科 法医・生命倫理学
研究責任者職氏名	教授・石井 晃

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

法医鑑定では、人の血液中の薬毒物を種々の方法で測定します。これら血中薬物をより正確でばらつきの少ない方法で測定するため、日赤から供与された血液に薬物を添加し、測定を行い、ばらつきの少ない方法を開発します。法医解剖が行われるご遺体は、薬物が含まれていることがしばしばあり、正確な測定方法の開発は、鑑定の信頼性を高め、死亡された方を含め、関与する方々の人権の保護に寄与します。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：全血（規格外）

献血血液の情報：なし

3 献血血液を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名
共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》すでに匿名化された日赤の全血サンプルに、あらかじめ分かった濃度の薬毒物を添加し、分析を妨げるタンパクや脂質を取り除きます。次いで、精製された目的の試料を、質量分析という、目的物質の分子量や構造がわかる分析方法で高感度に検出する方法を検討します。その際、測定値のばらつきが少なくなるような測定法を開発し、評価を行います。

5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R040043

本研究に関する問い合わせ先

所属	名古屋大学大学院 医学系研究科 法医・生命倫理学
担当者	高瀬 直子
電話	052-744-2116
Mail	takasen@med.nagoya-u.ac.jp